

令和 5 年度 第 2 回加西市総合教育会議

次 第

日時 令和 5 年 10 月 23 日(月)

15 時 30 分～

場所 加西市役所 1 階多目的ホール

開 会

1 市長あいさつ

2 教育長あいさつ

3 協議事項

(1) 令和 6 年度予算について

(2) 学校再編に関するアンケート調査の回答結果について

4 その他

閉 会

令和 5 年度 第 2 回加西市総合教育会議 出席者名簿

■ 加西市総合教育会議委員

所属・職名等	氏 名
市長	高 橋 晴 彦
教育長	菅 野 恭 介
教育長職務代理者	沼 澤 郁 美
教育委員	楠 田 初 美
教育委員	中 川 和 之
教育委員	深 田 英 世

■ 事務局

所属・職名等	氏 名
政策部長	藤 後 靖
政策部 政策課長	柿 本 尚 一
政策部 政策課 政策係長	岩 野 裕 之
教育委員会 教育部長	千 石 剛
市参事(学校再編担当)	伊 藤 勝
教育委員会 教育総務課長	中 井 孝 浩
教育委員会 学校教育課長	小 坂 卓 司
教育委員会 こども未来課長	阿 木 博 信
教育委員会 生涯学習課長	北 島 悦 乃
教育委員会 図書館長	伊 藤 陽 子
教育委員会 総合教育センター所長	工 藤 憲 人

令和 6 年度予算について

担当課	現状と課題	取 組
教育総務課	■教育施設 耐震化工事は、平成 27 年度に完了したが、引き続き、昭和 56 年 6 月以降に建築された建物の改修工事を順次行う。 また、各教育施設の照明器具の LED 化、トイレの洋式化を進めていく。	長寿命化計画に基づき計画的に改修工事を行うと共に照明器具の更新工事(LED 化)・トイレ改修工事を実施する。
	■市外通学児童生徒給食費補助金 加西市外の小学校、中学校に通学する児童、生徒に給食費相当額を支給する。(令和 5 年度は 2 学期分、3 学期分の給食費相当額を支給した。担当：政策課)	市外に通学する児童、生徒の給食費相当額を補助し子育て世代の負担軽減を図る。 加西市立学校の給食費無償化：令和 4 年度から実施。
	■学校再編事業 保護者説明会、アンケート、タウンミーティング等で意見を聞き方針を決定する。	小中学校の再編に向けて必要な整備を行う。
学校教育課	■加西 S T E A M の推進 ふるさと加西の人・もの・ことの魅力を活用した教科横断的な学びや体験的な学びに向けた魅力ある学校づくりを通して、児童生徒が自ら「問い」を立て、考え判断し、行動できる人づくりを推進している。	各校における「社会に開かれた教育課程」経営の重要性が高まる中、目指す児童生徒像を地域と共有しながら、探究的な学びである加西 STEAM を通じて、加西市の財産となる課題解決型次世代人材の育成に向けた資質・能力を育む。 ・STEAM 教育推進事業 (学校づくり×STEAM 推進事業)
	■学力向上・基礎基本の定着 平成 19 年度から実施されている全国学力・学習状況調査について、加西	各小中学校の中で、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学

	市の児童生徒の結果を経年的に分析すると、小・中学校ともに全教科で全国平均を下回る結果になった。中身を分析すると、主な課題は下記の通りである。 【小学校国語】 ・文章を読み取り、考えをまとめる力 【小学校算数】 ・図形の意味や性質を理解する力 【中学校国語】 ・表現の効果や文章の要旨を捉える力 【中学校数学】 ・複数のデータを比べ、その意味することを言葉や数で説明する力 【中学校英語】 ・自分の考えや理由を話す力、書く力	力向上へ向けた授業改善や取組を進める。その上で、12月定例教頭会の場で、各校での取組や成果等を情報交換し、1月の学力向上セミナーの協議を通して、結果にコミットする学力向上策を見出す。 また、市費負担のSA（スクールアシスタント）等を増員し、教職員が教材研究の時間を確保し、ゆとりをもって授業を行うことで、児童生徒の学力課題にしっかり向き合い、確かな学力向上を図る。 ・学力向上プロジェクト事業 ・スクールサポーター事業 ・かさいがんばり学びタイム
	■国際力の育成 小・中学校での外国語教育及び国際理解教育のさらなる充実を図り、加西市で外国語教育・国際理解教育を受けた児童生徒が、世界の多様な他者と対等に関わり、自分自身の力で人生を切り拓いていく力を育成する必要がある。また、外国語教育及び国際理解教育に携わっている教員の授業力の向上が必要である。	加西市が目指す次世代型人材の育成を視野に入れ、小学校・中学校での英語力（4技能5領域）の向上を図る。 ・ALTの配置 ・英語が堪能な地域人材の活用 ・英検（中3）助成 ・英検IBA（自治体版）実施 ・国際交流事業 ・教員研修
	■学校図書館 文部科学省により、「第6次学校図書館整備等5か年計画」が策定され、国の定める図書標準冊数にもとづく学校図書館の図書数の確保とともに、加西市立図書館がすすめるスマート図書館構想による図書環境の整備を推進している。読書好きな児童生徒を増やし、授業で新聞・図書を使って思考力や判断力、表現力を育み、探究的な学習活動を通じて、児童生徒の情報	児童生徒の主体的で探究的な学習活動を進め、学力向上につなげるため、各校における新規図書購入費、新聞の複数の配備費を支援するとともに、市立図書館のスマート図書館事業や学校図書館コーディネート事業による支援を受け、学校図書館の充実を図る。 ・学力向上プロジェクト事業

	活用能力を育成していく必要がある。	・学校図書館コーディネート事業
	教職員の働き方改革 次世代を担う人材育成に向けて、教師の専門性の向上とともに持続可能な教育環境の構築を目指すことは必須である。同時に、教職員の児童生徒と向き合う時間を確保し、児童生徒一人一人に個別最適化された学びと協働的な学びを一体的に充実させる必要がある。 しかし、現状では、学校においてはほぼ紙ベースでの仕事であり、同時に新型コロナウイルス感染症対策や繁忙期などの業務では勤務時間の適正化が難しく、児童生徒と向き合う時間の確保に課題がある。	各校における学校業務改善を図るため、支援員等外部人材の拡充配置・ICTを活用した校務のDX化により、さらなる教員の負担軽減を図る。 ・フルクラウド型校務支援システムの活用（出退勤管理、学校徴収金対応を含む） ・スクールサポーター事業（学習支援、ICT支援員、特別支援、部活動指導、学校事務等） ・クラウド型デジタル採点システム及びデジタル返却システムの活用 ・学習eポータル活用
こども未来課	■保育教諭の確保と人材育成 幼児期の教育・保育の質の向上を進めていくには、保育教諭の雇用と人材育成が大きな課題となっている。私立園の職員の雇用を促進するため、就労を開始した月から最長3年間、月額2万円、最大72万円の支援金を保育教諭に支給する。	・保育人材確保対策補助金 ・就職フェア等の雇用支援
	■保育料完全無料化(0～2歳児)による保育教諭確保対策 子育てにやさしいまちづくりを目標に、子育て支援策として、また、保護者の就労意欲向上の支援策として保育料を無償化した。これにより増加している保育ニーズに対応し、0歳からの保育支援をするため保育教諭の緊急的な確保対策を実施する。	・保育人材確保対策補助金（緊急確保対策補助金） ・私立こども園等人材確保対策補助金 ・保育教諭宿舍借上げ補助金 ・保育補助者雇上強化事業補助金 ・保育体制強化事業補助金

	■学童保育園図書・玩具の購入 現在、学童保育園の図書・玩具等は、利用者から徴収する教材費の余剰分で購入したり、保護者からの寄付等で賄っているが、放課後や長期休暇の長時間を過ごす児童が必要とする、多様な図書・玩具を充足できていない。また、学童ごとの人数差もあり、備えている図書や玩具にも差が生じている。	教材費は児童の製作資材等の消耗品購入に充て、園に備えるべき図書や玩具については、公費で最低限のものを揃え、学童保育環境を充実させる。
生涯学習課	■加西市文化財保存活用地域計画 同計画に基づき、歴史文化遺産を活かしたまちづくりを推進する。	・加西市文化財保存活用地域計画協議会の開催 ・地域の歴史文化遺産を活かした活動への支援。
	■史跡玉丘古墳群整備 平成27年度に策定した「史跡玉丘古墳群整備基本計画」に則り、整備を進める。令和5年度でクワンス塚古墳外堤修理を実施後、玉丘古墳、マンジユウ古墳の順に、未整備の古墳整備を実施する。	・史跡整備委員会を開催し玉丘古墳の整備を実施。 玉丘古墳について、毎木調査を実施し、周濠の排水・墳裾の状況確認を実施する。
	■玉丘史跡公園の修繕 老朽化した施設の改修を計画的に行い、利用者の安全を確保する。 令和5年度で古代の森の民家隣接樹木伐採、剪定を行い整備する。	・古代の森の残り樹木について伐採を実施し、以後、順に公園植栽の整備する。 ・公園内手すり等の改修 ・園内建物の修繕 ・市の施設整備事業と調整し、公園整備を進める。
	■埋蔵文化財整理室の整備 埋蔵文化財整理室は老朽化による雨漏りが頻発し資料保存に支障をきたしている。令和5年度で屋上の防水改修工事を実施する。	・加西市の歴史を未来に伝えていくための拠点施設としての展示機能と整理室機能を備えた施設を、移転・新築等も視野にいった総合的な再整備計画を検討する。
	■埋蔵文化財緊急発掘調査事業 ・令和3年度在田南部ほ場整備分布調査実施。	・在田南部ほ場整備事業に伴う確認調査実施

	・令和3、4年度加西インター産業団地造成2工区確認調査・4工区確認調査、本調査実施。	・加西インター産業団地造成事業の確認調査実施
	■各種教室の開設 公民館・オークタウン加西のあり方検討委員会を踏まえ、生涯学習の拠点施設として幅広い世代の方が参加できる講座を企画、実施する。各館で同じ内容の講座を開催していたり、何年も同じ講座を続けていることがあり、講座の見直しが必要となっている。	令和4年度に設置したSTEAMラボを活用し、学校や図書館、地域とも連携した活動を進め利用の少ない層を取り込めるような運営方法についても検討する。各公民館からのプレゼン形式による企画提案で予算を配分したり、市民から講座アイデアを募集することにより市民ニーズや時代に即した講座を企画する。
	■公民館施設整備 老朽化した施設の改修を計画的に行い、環境改善に取り組む必要がある。老朽化が激しい北部公民館の整備を検討する必要がある。 R3年度 体育館LED化、屋根防水シート、クロス張替等 R4年度 本館LED化、クロス張替等 R5年度 本館LED化、トイレ防臭工事、エレベーター修繕、駐車場補修等	老朽化した施設の修繕を計画的に実施する。また、新北部公民館の整備について全体計画を進める。
	■オークタウン加西施設整備 昭和61年施工、設備の更新ができていないため、老朽化が進んでいるため、順次施設の環境改善に取り組んでいく必要がある。 R3年度 体育館LED化、廊下床クロス張替 R4年度 研修棟LED化、トイレ排水、外壁等修繕 R5年度 研修棟LED化、キャンプ場トイレ修	老朽化した施設の修繕を計画的に実施する。施設周辺の駐車場及び通路の舗装及び体育館の雨漏り対応を進める。

	繕、案内板修繕等	
総合教育センター	■教職員の資質・能力の向上 学校の小規模化による教員減の現場において、大量退職・大量採用の時代を迎え、若手教員の割合が急増し、これまでの教育の継承やスキルの伝承が困難な状況にある。 さらに、ICT 教育等の新しい教育への対応、多様化・困難化する生徒指導への対応、教員免許更新制の廃止等により、これまで以上に教職員の研修が必要となっている。	総合教育センターでは、教職員の資質向上と専門性向上に向け、約 40 講座の研修を実施している。教職員のキャリアステージや専門分野に応じた講座、ICT 活用等の新しい教育に向けた講座、生徒指導等の喫緊の課題解決に向けた講座、校内研修・教科担当者会を支援した講座等のさらなる充実を図る。
	■不登校支援の充実 全国的に不登校数が過去最多となっており、加西市においても同様の状況である。不登校支援は、登校を目的とするところから、将来の社会的自立に向けた支援へと変わっており、多様な学びや、福祉的な観点からの居場所づくりの支援も求められている。 R5 年度は、総合教育センター内「ふれあいホーム」に加え、校内フリースクールを 2 つの中学校内に設置し、給食の提供も行った。教職員、不登校生や保護者の評価は高く、通室生も一定数いるが、校区外の生徒は通室が難しいことや、外出が難しく他者との生活を敬遠する児童生徒への支援といった課題がある。	学校による家庭訪問や別室登校、SC によるカウンセリング、「ふれあいホーム」と校内フリースクールの運営、SSW による家庭支援や地域福祉課・関係機関との連携といった、支援体制が構築されている。 R5 年度に拠点校方式で開室した校内フリースクールを残り 2 中学校に設置し、外へ出ることが難しい児童生徒の支援に向けて、オンラインによる支援の効果調査・検証し、メタバースを活用した教室の導入を検討する。また、これらに対応できる知識とスキルのある支援員の配置と教室環境整備を行う。
	■発達支援体制の充実 発達の特性により、支援を必要とする児童生徒数は増加しており、不登校生には、特性から感情や行動のコントロールが難しい等、集団への適応に困難を感じていることが要因である者も多い。 保護者や学校は、支援や助言を必要としており、発達支援に関するニーズ	発達検査や専門的知見から指導・助言ができる発達支援アドバイザー、スキルトレーニングを行う専門的知識とスキルのある発達支援アシスタントを確保し、児童生徒本人、保護者、学校の支援にあたる体制の充実を図る。

	は年々高まっているが、発達検査、特性に応じた支援や助言ができる体制や人材確保等は、ニーズに十分応えられていない状況にある。	
	■体験学習にかかる交通費補助 ふるさと加西市の地域教育資源を活用した「あびき湿原環境学習」「鶉野飛行場跡平和学習」、今年度より飯盛野疎水や関連施設の見学も取り入れ、体験学習として取り組んでいる。 各体験学習が教育課程に定着、拡充しているが、実施するには実施状況に応じた交通費補助額の確保が必要である。	令和6年度、交通費補助を希望している学校数は、「あびき湿原環境学習」11校、「鶉野飛行場平和学習」5校、「飯森野疎水や関連施設見学」11校である。 交通費補助をすることにより、各校の体験学習の実施を実現させる。
	■学校運営協議会の充実 「地域に開かれた学校」から、目標やビジョンを地域住民や保護者と共有し、地域と一体になって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へ向け、R5.4 学校運営協議会が各校に設置され、コミュニティ・スクールがスタートした。	学校運営協議会の充実にむけ、文科省 CS マイスターによる研修会、各校の情報交換を行う連絡会も実施し、さらに理解と取組を深めていく。 導入2年目となる令和6年度、委員構成の見直しも想定し、各校最大12名分の委員報酬費の確保をしておく。
	■青色パトロールカーの更新 青色パトロールカーは、毎日の市内巡回により、登下校の注意喚起・安全確保を行い、市行事では広報啓発活動への協力等を行っている。しかし、現在稼働中の青パトは20年以上使用しており、車検時にも部品交換や整備箇所をいくつも指摘されている。	整備箇所の多い青パトを更新することで、使用する職員の安全性を高め、整備等にかかるランニングコスト削減、エコカーによる環境に配慮した取組を図る。
図書館	■資料の充実 図書館の活性化及び子どもの読書活動推進のため、多くの方に図書館を利用してもらいたい。継続的に新しい本を購入することで、図書館の利用者	多様な利用者層に向け、図書館蔵書及び電子書籍を充実させる。 紙と電子ともに資料を充実することで、学校連携の推進を図

	増につながる。	る。
	■集客力の向上 来館者数が減少しており、複合商業ビルに設置された図書館として、集客力の向上を図る必要がある。アスティアかさい内事業所との連携事業も含め、積極的なイベント展開が必要である。	イベント等の充実により、親子連れや一般利用者の来館を増やし図書館の活性化を図る。それとともに複合商業ビル内の回遊性を図るための施策を実施するなど、連携を強化することで全体の活性化を図る。
	■図書館テラス床修繕 図書館が開館し 20 年が経ち、テラス床が経年劣化により腐食が進んでいる。このままでは、利用者がケガをする可能性があり、修繕をする必要がある。	テラス床を天然木ではなく、耐久性に優れ、メンテナンスの簡単な人工木材を利用し、全面貼り替えを行う。
	■エレベーター及び小荷物専用昇降機の改修工事 エレベーター及び小荷物専用昇降機設置から 20 年が経ち、修繕部品の製造中止の期限が近づいている。安全・安心に利用できるように、修繕部品の調達が可能なうちに、新しい機器にリニューアルする必要がある。	エレベーターは令和 7 年 12 月に、小荷物昇降機は令和 7 年 3 月に部品の製造が中止される。部品調達が可能なうちに、改修工事を実施する。

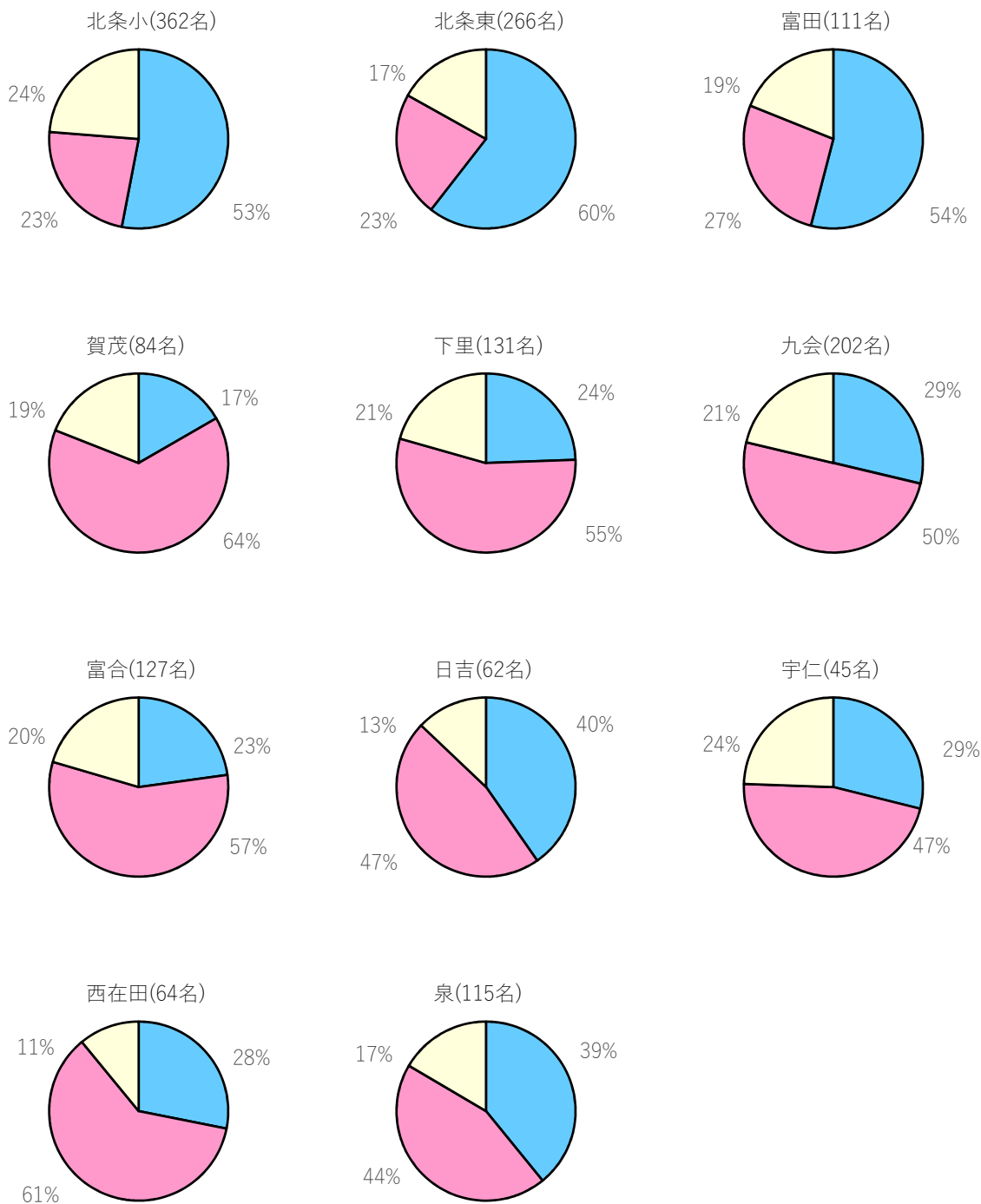
学校再編に関するアンケート調査の回答結果をお伝えします

加西市教育委員会では、就学前・小学生・中学生のすべての保護者を対象に学校再編に関するアンケート調査を実施しました。加西市の児童生徒の減少に伴う学校教育の現状をお知らせし、お住いの校区の小中学校の再編について保護者の皆様にご意見をお聞きしております。また、市内 4 中学校の全中学生、北条高校生にも同様のアンケートを実施しておりますので、あわせてお伝えします。

① 保護者 回答数 1,580 名（回答率 62%）

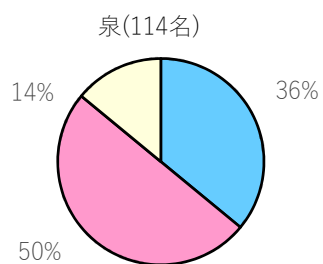
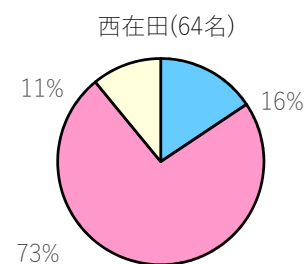
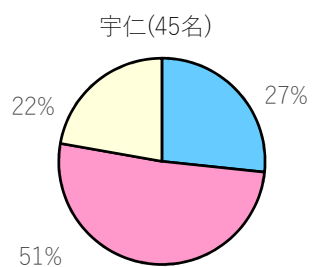
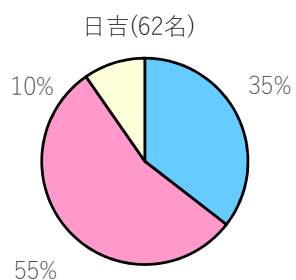
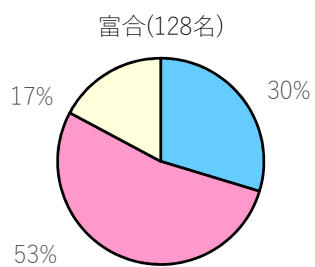
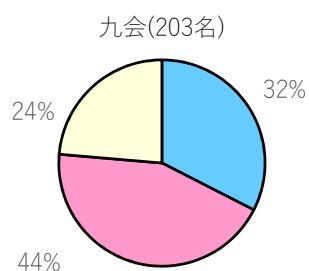
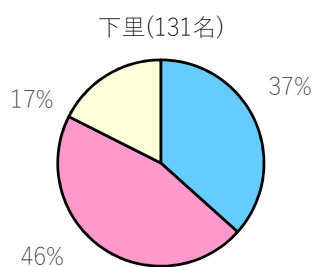
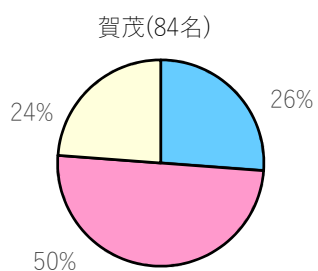
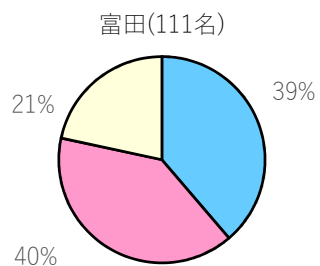
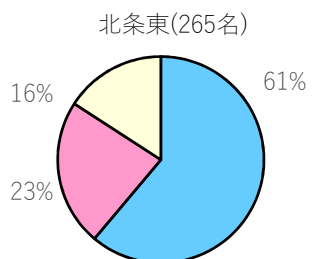
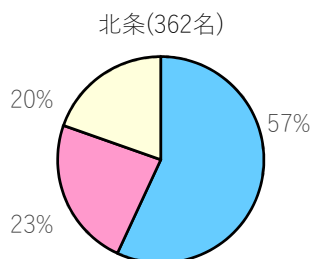
問3 お住いの校区の中学校についておたずねします。中学校の再編について、あなたはどのようにお考えですか。

■ 現状のままでよい ■ 統合を検討した方がよい ■ どちらともいえない



問4 お住まいの校区の小学校についておたずねします。小学校の再編について、あなたはどのようにお考えですか。

■ 現状のままでよい ■ 統合を検討した方がよい ■ どちらともいえない



多数の自由記述意見が寄せられました。一部抜粋して紹介します。

スクールバス	・統合すればスクールバスは小学校、中学校とも必要。 ・バスは必要だと思うが、どの程度便が出るのか。もっと具体的な情報が欲しい。 ・バス料金はどうなる。費用負担はない方がありがたい。 ・スクールバスについては学校統合に関係なく必要性を感じる。 ・バスを複数回走らせて部活などで帰宅時間の違う子にも対応してほしい。 ・バスの安全対策は万全の体制をお願いしたい。 ・バスの導入は保護者の負担がないよう通学路を考え、地域ごとに公平に取り入れる必要がある。 ・我が子の場合、車酔いをしやすいので、毎日、長時間の登下校が苦痛になるのではと心配する。 ・運行時間を長くても45分以内に収まるようにしてほしい。 ・路線バスを活用することで地域の足の確保も両立してほしい。 ・遅刻、早退連絡等に対応するため、位置情報機能の端末やスマホアプリの導入も検討すべき。
部活動	・中学校では生徒が少なく部活を選べない。部活の種類は多い方がよい。 ・部活も外部から専門のスタッフを頼んでも良いと思う。子どもも少ないし、今変わるときかと思う ・学校の部活を強制することなく、学外のクラブ等への所属も選択肢の一つとして考慮してもらいたい。 ・中高一貫校は難しいとしても、部活動の交流とか県市の垣根を超えた柔軟な運用を期待する。 ・中学校が2校に合併されると部活動の市内大会などで争う楽しみが無くなってしまう。 ・先生や部活の問題は統合で解決するのではなく、他の方法を考えることが良いかと思う。 ・教員の負担を減らすため、部活動は外部に委託してほしい。 ・学校統合前でも、部活動は市内合同チームを作り、競争力を高め、部内での強化を図ってほしい。 ・入りたい部が無いのに何かに入らないといけない。やりたい部活をさせてあげたい。 ・外部のクラブに活動拠点を移し、加西市で一つのチームにするなど連携して行うのが良い。 ・部活動は地域に任せたら良い。指導に当たる方に給料がでる仕組みをつくらば移行できる。 ・部活は先生主体の指導ではなく、地域の力をかりるなど、みんなが参加できる形になればいい。
特別支援教育	・通常学級で配慮が必要な子のサポート状況については不透明なので、もう少しオープンにしてほしい。 ・特別支援教室を多く確保し、みんなで一緒になって子どもを育てる環境を作って欲しい。 ・高い知識、経験、専門性、熱意のある先生を配置してほしい。 ・障害児、者支援に関わってきたことがある人にも門戸を開き、複数で関わるサポート体制を希望する。 ・障害の有無に関わらず、穏やかに過ごせる最低限の環境作りをお願いしたい。 ・小学校支援学級でのパソコン操作、文字入力等、将来の就職につながる教育の充実をお願いしたい。 ・下里小は賀茂小と統合しても加西特別支援学校との交流を続けて欲しい。 ・加西特別支援学校の移転、再編も一考していただきたい。北条地区への移転もいいのではないかな。
小中一貫校	・将来的には、小中一貫校を見据えて新校舎を建てて欲しい。 ・1年生から9年生まで、縦の繋がりも増えてとても良いと思う ・通学や地域のことを考えると、中学校の統合よりも小中一貫の方がいい。 ・近隣では小中一貫校が進んでいるのに同じような環境の加西市で導入されない理由はなぜか。 ・小中一貫が理想だが、人数的に難しいと思う。 ・10年先の子ども数を見れば、加西・善防・泉中校区で小中一貫校をつくるのも一案かと思う。 ・小中一貫校は反対。子どもが馴染めない、いじめられた場合に逃げ場がなくなる。 ・小中一貫校のメリット、デメリットが知りたい。
その他	・統合時期を5年以上前から教えていただき、現場も子どもたちもそれに向けて準備できる体制を作って欲しい。 ・「新たな場所での新校舎」「生徒・保護者に負担を与えない通学手段」が明確にならないと合意を得にくい。 ・既存の学校、校舎を利用して早期の実現をしていただきたい。 ・市内の小中学校の制服、体操服を統一してほしい。 ・ジェンダーレスな制服、着やすく機能性に優れた制服等、統合のタイミングを待たずとも実施してもらいたい。 ・PTA行事が多い。見直してできないか。